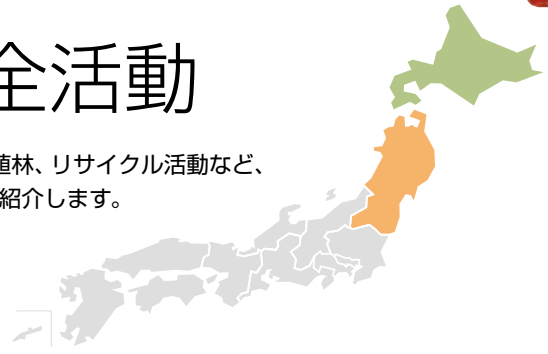




10 郵便局での環境保全活動

全国の郵便局では、環境月間(6月)をきっかけとして、清掃、植林、リサイクル活動など、地域に根ざした環境保全活動を実施しています。主な取組をご紹介します。



平成16年度における活動紹介

北海道支社

室蘭郵便局

清掃ボランティア活動及び花壇の整備

平成16年度の清掃活動としては、小公園と局周辺のごみ拾いや草刈り等を6月から11月まで月1回のペースで合計6回実施しました。また、6月には、「全道一斉クリーンアップ作戦」の一環として、入江運動公園でごみ拾いを実施しました。そのほかにも、雑草に覆われていた局前の市有地を「花壇にして街を



きれいにしたい」と願い入れ、7月にマリーゴールドやサルビアなど約400株を植樹しました。

札幌市内及び札幌市近郊郵便局

道民の森でJPF (Japan Post Forest) 植林祭を実施

平成16年5月30日に道民の森(石狩郡当別町)植樹広場において「JPF (Japan Post Forest) 植林祭」を実施。札幌市内、札幌市近郊郵便局及び支社職員354名が参加(植樹スペース及び植樹本数の関係から参加者を300名程度とし、関係局へ参加依頼)し、約1,500本(ミズナラ、シラカバ、ポプラ)を植樹しました。

本施策実施に当たっては、北海道支社が北海道庁と打ち合わせ、実施場所を選定したほか、関係郵便局への協力依頼、役割分担、事前準備等を行いました。

平成16年9月12日には、育樹活動の一環として、札幌市内、札幌市近郊郵便局職員及び支社職員307名が参加し、植樹した苗木周辺の下草刈りを行いました。

日本郵政公社環境中期計画に連動させ、平成18年度まで3年間継続して実施する予定であり、平成17年度は6月5日に実施しました。



東北支社

遠野郵便局・遠野部会

遠野市植樹祭へのボランティア参加



荒れた状態で放置されていた旧琴畑牧場を市の水源の森に戻す3か年プロジェクト「遠野市植樹祭」。2年目の今年は、約320名の市民ボランティアが参加して行われました。郵便局からは40名が参加し、約2haに及ぶ敷地に、ミズナラ、タケカンバの苗木3,000本を植樹。市民ボランティア団体の中では、郵便局からの参加が最多人数で、地域貢献がかなうとともにPRIにもつなげることができました。

青森西郵便局

「平成16年度緑花コンクール」で努力賞を受賞



青森西郵便局では、平成15年度から国土交通省と連携し、国道の清掃と花壇の整備を実施しています。平成16年度の活動としては、「国道ボランティア清掃及び花壇整備」を2回、「花壇整備」を1回、「花壇の清掃、水やり等のメンテナンス」を定期的に行いました。これらの活動は地域から高い評価を受け、青森市主催の「平成16年度緑花コンクール」で努力賞を受賞しました。

郵便局での環境保全活動



関東支社

宇都宮中央郵便局

お客さま・職員を対象に、 リサイクル講座を開催

地域の方に、ごみの減量などリサイクルに対する意識を高めてもらおうとリサイクル講座を開催しました。第1回目は「ごみの分別」。宇都宮市役所職員を講師に招き、ごみの分別を通して、ごみの減量化について学びました。第2回目は「牛乳パックからはがきを作ろう」と題し、職員が講師になり、実演を交えながら牛乳パックからはがきをみんなで一緒に作りました。



利根東部会

利根村の観光地「吹割の滝」をきれいに



平成16年6月、利根村の観光地として有名な吹割の滝とその周辺遊歩道の清掃を実施しました。この清掃は、職員とその家族が地域に役立つ活動をしようと話し合う中で、年間を通じて多くの観光客で賑わう吹割の滝周辺に決まり、実施となったものです。役割分担により、竹ぼうき、熊手、ごみ袋などを持ち寄り、木の葉や枝、空き缶、吸い殻、紙くずなどを拾い集めました。

東京支社

千代田区所在局(46局)及び東京支社

千代田区一斉清掃の日に参加

千代田区の環境美化清掃施策の一環である一斉清掃の日に、千代田区所在局及び東京支社をあげて参加しました。各郵便局では、それぞれに時間やコースを決めて清掃し、環境美化に努めました。東京支社については、大手町付近、神田駅付近、東京駅付近と3コースに分かれ、清掃活動を実施。回収されたごみの量は、可燃ごみ約598kg、不燃ごみ約74kg、空き瓶28本、空き缶240本、ペットボトル188本に及びました。

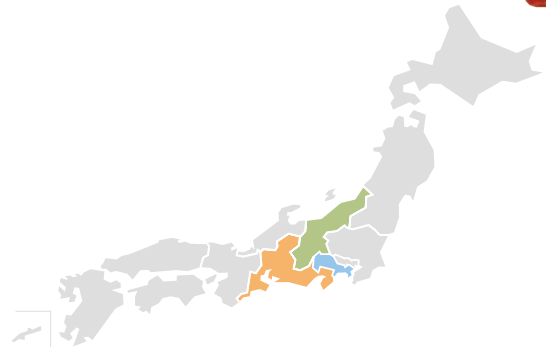


小平郵便局、小平東部会及び小平西部会

牛乳パックを活用した 手すきはがき作成教室の開催



小平市の全局において、市に協力して10年前から使用済み牛乳パックの回収を行っています。今回、リサイクルによる資源の再利用に対する意識の向上を目的として、牛乳パックを活用した手すきはがき作成教室を開催しました。牛乳パックをはがきにしていく工程を体験した子どもたちからは、驚きと喜びの声が聞かれました。また、このほかに、季節によって年賀はがきや暑中見舞いはがきの回収にも協力しています。



南関東支社

横須賀ブロック・神奈川南連絡会
片瀬海岸でゴミひろい

横須賀ブロック(普通局9局)、神奈川南連絡会(特定局75局)では、平成15年から「かながわ海岸美化財団」がサポートする地域の清掃活動に参加しています。

16年度は藤沢市片瀬海岸約1.5kmの清掃を行い、約200名の職員が参加しました。海藻類をはじめ、弁当容器、空き缶、花火やバーベキューセットなどさまざまなゴミが集まり、約20袋を収集しました。

この活動により、環境美化活動の大切さに気づく職員も多く、今後も広く職員の参加を募り、継続していく予定です。



鶴見西部会

鶴見駅周辺の環境美化活動

職員の物品を持ち寄ったチャリティバザーを平成8年から毎月1回実施しています。今年で9回目となるこの取組は、地域の方々からの協力もあり、毎年完売しており、売上金はすべて社会福祉協議会に寄附しています。

また、平成15年からは年2回、JR鶴見駅周辺の清掃活動も行っています。今年も2回実施し、部会職員約40名が参加しました。

鶴見西部会では、これらの取組を通じ、地域社会への貢献と職員の環境意識の向上を目指しています。

信越支社

中蒲南部会

秋葉山環境追跡ハイクを実施

部会のレクリエーション活動として、環境への意識向上と健康をテーマに「環境追跡ハイク」を実施しました。新津駅からゴール地点である秋葉山までの3.5kmの道のりの間の途中に、日本郵政公社の「環境基本宣言」や「環境行動計画」にちなんだ問題を解くチェックポイントを設置。環境を学びながら遊歩道沿いのごみ拾いをしました。ゴール地点に集められたごみは、45リットル袋で11袋に及びました。



東海支社

半田郵便局

道路わきの花壇美化活動

半田郵便局では平成13年から毎年6月から10月までの期間、道路わきの花壇清掃を行っています。範囲は、局の西側交差点からJR半田駅に面した花壇。草取りとごみ拾いを継続して、実施しており、毎回、90リットルのポリ袋10~15袋分のごみを回収しています。この清掃は通算で20回を数え、かなり定着した活動になっています。



伊豆北部会

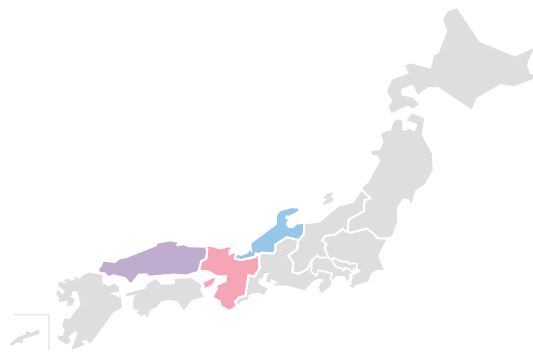
清掃センター現地学習と源氏山環境ボランティア

伊豆長岡町(現 伊豆の国市)では、町の大きな観光イベント「あやめまつり」があります。多くの観光客がみえることから、郵便局として環境美化のお手伝いをする事になりました。そこで、参加する職員と



その家族の意識を高めるために、町にお願いし清掃センターの見学学習も行うことに。当日は、センターを見学した後、清掃作業にうつりました。今回、特に印象に残ったのは、子供たちの元気にいきいきと奉仕する姿です。

郵便局での環境保全活動



北陸支社

特推連富山県呉東連絡会 連絡会をあげて資源回収を実施



局舎の美化と社会貢献を目的に、特推連富山県呉東連絡会の総力を結集して資源回収を実施。各部会を通じて各局、各職員に新聞紙とダンボールの回収を呼びかけました。回収日の当日に集積された量は、5,500kgにのぼりました。「環境美化に役立った」との意見が多かったことから、2回目も実施。売却代金は、福祉施設等に寄付しました。

近畿支社

海南郵便局 ケナフを使って地球温暖化防止をPR

環境月間の取組として、ケナフを使った地球温暖化防止のPR活動を実施しました。実施内容としては、来局されたお客さまに、ケナフの苗木50株とケナフ製ポケットティッシュ、ケナフの育て方説明書を配布。また、ケナフの特性が地球温暖化防止に役立つことをつづったパネルを展示しました。なお、今回、配ったケナフの苗木は、局でケナフ種子から育成し、10cm程度にまで生長させたものです。



写真提供：わかやま新報社

中国支社

普推連広島南連絡会・特推連芸南連絡会 森林を目指し、クヌギなどの苗木約1,500本を植樹

竹原市福田町の森林は、平成6年8月に起こった山火事で約360ヘクタールを焼失。この山に森林を再生しようと、NPO法人や地元企業と協議を重ね、3年計画で森林再生を行うことになりました。第1回目の今回は、郵便局から合計64名が参加（全体では約350名）し、クヌギなど3種類の苗木約1,500本を植樹しました。



下関東郵便局・下関東部会 リサイクルバザーで得た売上げを寄付

各局では、職員が自宅から遊休品を持ち寄り、チャリティーリサイクルバザーを実施することになりました。開催日までに集められた遊休品は約500点。バザー開催と同時に多くのお客さまで大盛況となり、1時間足らずで完売しました。売上金は94,771円となり、全額を下関社会福祉協議会に寄付しました。





四国支社



四国支社

“真っ向” 四国の郵便局 一斉エコ活動

四国の郵便局は、普通局、特定局、付属施設が一丸となって「一斉エコ活動」を実施しました。それぞれ地域の郵便局が連携し、周辺地域の清掃活動などを行いました。最も参加人数が多かったのは、特推連愛媛県南部連会・八幡浜局の「南予一斉クリーン活動」で440名が参加。そのほかでも100名以上が参加したところも多くありました。

今治郵便局

「資源ごみステーション」を常設

今治郵便局では、市と協力し、平成15年5月から局敷地内に「資源ごみステーション」を設置しています。市の家庭用資源ごみの回収が月2回であることに対し、局設置の「資源ごみステーション」は月曜日から土曜日までの午前9時から午後5時まで。仕事の都合などで指定日にごみを出せない方々に大変喜ばれています。市内で常設しているのは、今治郵便局だけです。



直島 特推連香川県東部連絡会

山林火災で焼失した緑を植林活動

平成16年1月、香川県直島町で山林火災があり、総面積の約10分の1に当たる緑が失われました。消失した緑を取り戻そうと、自治体・ボランティア団体等が植林活動を実施しており、郵便局も地域の一員として活動を実施することとしました。

直島町内局が所属する特推連香川県東部連絡会（91局）が活動を計画。直島町に計画を持ちかけ、快く賛同していただきました。

活動は、平成17年2月26日に実施され、地元指導員の指導のもと、参加者180名が約1,500本の黒松、ヤマモモ、ウバメガシ、ヤマツツジ等の苗木を約2時間かけて植林しました。

また、今後の植林活動に役立ててもらうため、植林用道具（スコップ100本、くわ100本）を直島町に寄贈し、大変感謝されました。

郵便局での環境保全活動



九州支社

宮崎県郵政まちづくり協議会

「一ツ葉海岸クリーンウォーク&植樹」を実施



宮崎県で「第55回全国植樹祭」が開催されることを機に、県に役立つことはできないかとボランティア活動を検討することに。その中で、宮崎市近郊の一ツ葉海岸沿いの国有林において緑化活動が行われていることを知りました。そこで「一ツ葉海岸クリーンウォーク&植樹」を計画。当日は、ごみ拾いをしながらウォークラリー、その後、クロマツ200本、ヤブツバキ5本を植樹しました。

都城郵便局・北諸県部会・都城部会

環境をテーマにした講演会を開催

環境月間の一環として、環境のことを考える講演会を開催することが決定。今回は、「どんぐり1000年の森をつくる会」の会長の樋口信義さんを招き、「生命(いのち)の水を確保するため森をつくる」をテーマに、講演がなされました。スライドを使い、クイズを取り入れながら、水の大切さ、水を作ってくれる森の大切さを、わかりやすく説明いただきました。



沖縄支社

沖縄郵便局

沖縄郵便局通り周辺の環境美化活動



沖縄郵便局は環境美化の推進を図るため、沖縄郵便局通り周辺の環境美化活動を実施しました。参加した職員は「美ら海クリーンアップ作戦」のロゴの入った黄色いTシャツを着用し、時折、小雨の降る中、国道330号から局前を経て沖縄こどもの国までの約800mの歩道周辺の空き缶や吸い殻等を丁寧に拾い集めました。45リットル袋で21袋分のごみを回収し、その後、職員で分別して処分しました。清掃をしている時に、道行く地域の方々からの応援、感謝の言葉は、職員にとって何よりの励みに。翌日の局議ミーティングでは、早速、今後も定期的に職員による環境美化ボランティアを実施されることが決まりました。

宮古郵便局・宮古部会

パイナガマビーチの環境美化活動

宮古郵便局をはじめ11の郵便局が協力して、平良市内のパイナガマビーチとビーチ付近の歩道の清掃活動を行いました。男性職員と女性職員に分かれ、男性職員は砂浜とビーチパーティを行う場所の空き缶の片づけと雑草の草刈り、女性職員はビーチ付近の歩道の空き缶や瓶を拾い集めました。分別回収したごみの総量は、90リットルのポリ袋で合計60袋に達しました。